



ここどうやるの？

おこづかいノートをつけかたを学ぶ教室

『東濃信用金庫 那加支店』では社会貢献活動として、職員が先生となり、小学生がおこづかいノートの付け方を学びました。(関連記事P6)

— 8月は社協会員募集月間です —
● 社会福祉協議会の会員募集にご協力ください。

各務原市社協キャラクター



サポート君



各務原市福祉フェスティバル2016 に集まろう！

『ささえ て さえられて みんなが主役のまちづくり』
～ つなげる 福祉の魅力 ～

- ◆日 時 9月4日(日)
午前9時から午後3時まで(雨天決行)
- ◆会 場 各務原市民会館・
中央ライフデザインセンター 一帯

医療・福祉団体による活動展示や模擬店など多数出店いたします。お誘い合わせのうえ、ぜひお越し下さい。



盲導犬ふれあいコーナー



点字体験コーナー

発達障がいのある子どもたちと 夏休みの思い出づくりをしませんか？

「夏休みふれあいキャンプ」 ボランティア募集

発達障がいの子どもたちと野外炊事やレクリエーションを楽しみながら活動します。初めての方も歓迎します。

- 日 時 8月5日(金) 午前8時45分から
8月6日(土) 午後2時頃まで
- 会 場 各務原市少年自然の家(鷺沼小伊木町)
- 参加費 無料
- 募集人数 10名(高校生以上で宿泊できる方優先
日帰りでの参加も可能です。)
- 締 切 り 7月24日(日)
- 申し込み 各務原市手をつなぐ育成会 担当:大谷
TEL/FAX 058-384-8313
(留守電を入れてくだされば折り返し連絡をします)

ヘルパー臨時職員募集

- 募集人員 2名
- 勤務時間 午前8時30分から午後5時15分までのシフトに定める時間
- 勤務内容 生活介助・身体介助
- 勤務形態 月曜日から日曜日までのシフト勤務
- 給与形態 時間給+交通費(当会の定める金額)
- 時 間 給 生活介助:¥930 身体介助:¥1,320
- 資格要件 ヘルパー2級または介護福祉士
普通自動車免許
- そ の 他 年数に応じて昇給あり
問合せ先 各務原市社会福祉協議会 事務局
TEL 058-383-7610
FAX 058-382-3233

多くの方が平成28年熊本地震義援金に協力いただきました

平成28年5月31日現在 ※敬称略・順不同

各務原市明るい社会づくり運動協議会	¥38,094
各務原市サッカー協会	¥7,533
ボランティアハウス風	¥7,800
各務原市社会福祉協議会職員一同	¥21,908
稲羽西地区社会福祉協議会	¥11,560
みっばらクック 街頭募金分	¥45,713
那加二東部地区社会福祉協議会 役員会	¥2,100
各務原歩こう会	¥1,480
ボランティアハウス 松本パンダクラブ	¥10,000
各務地区社会福祉協議会	¥4,685
ボランティアハウス レインボー	¥14,310
地域情報化推進委員会 緑苑web	¥5,000
フォークダンス スマイル	¥10,000
緑苑ふれあいハウス ふらっと	¥11,410
各務原市那加中学校生徒会	¥120,511
松が丘パソコンクラブ	¥57,000
長平シニアクラブ	¥5,000
那加二東部地区社会福祉協議会	¥7,437
クラブハウスゆうせん	¥12,392
鷺沼第二地区社会福祉協議会	¥8,687
陵南地区社会福祉協議会	¥1,770
那加一地区社会福祉協議会	¥7,104
音訳ボランティア あじさいの会	¥50,000
川島地区社会福祉協議会	¥686
その他募金箱	¥41,769
合 計	¥503,949

ご支援をいただきありがとうございます。
届けていただいた義援金は、熊本県が設置する「義援金配分委員会」で決定し、被災者に配分されます。

善意のご寄付をいただき 誠にありがとうございました

(敬称略・順不同) 平成28年4月1日～平成28年5月31日

浜野駐輪会	¥30,000
波多野耕三	¥9,000
匿名	¥135,558
戸大建設工業(株)	¥50,000
匿名	¥3,191
ユニー樹 “小さな善意で大きな愛の輪” 運動	
ユニホーム各務原店	¥6,009
各務原町の方より	タオル(57本)
小林順子	古切手
JAぎふ女性部 各務原ブロック	タオル(630本)

毎朝出勤前の約三十分、自宅周辺の散歩を日課にしています。きっかけはメタボ対策を目的に三年余り前から始めた健康運動体操。
週一回の教室では同年代や年長の方十名余りと一緒に筋トレとエアロバイクで体を動かします。普段も教室で購入した歩数計を付けて歩いており、その結果は教室のパソコンで取り込まれ、毎月成績が出るので朝の散歩にも気合が入ってきます。
鳥のさえずりを聞きながらの散歩は気分も良く、妻にも一緒に誘うこの頃です。

谷野 好伸



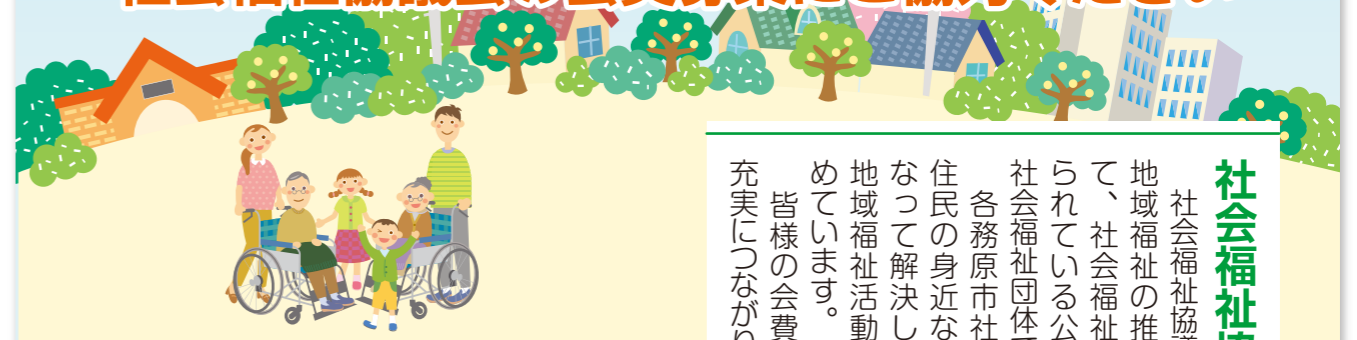
この広報紙には、赤い羽根共同募金が使われています。

発行日/H28.7.15

各務原市社協ホームページ

各務原市社協 検索

“あなたから始まるささえあい” 社会福祉協議会の会員募集にご協力ください



社会福祉協議会とは？

社会福祉協議会（社協）とは、地域福祉の推進を図る団体として、社会福祉法の中で位置づけられている公共性をもつ民間の社会福祉団体です。

各務原市社会福祉協議会は、住民の身近な生活課題と一緒に解決していく住民主体の地域福祉活動の体制づくりを進めています。

皆様の会費が地区社協活動の充実につながります。

世帯会員	1口500円
賛助会員	法人会員 5,000円以上
	団体会員 5,000円以上
	個人会員 1口500円

世帯の方には自治会を通じて、法人・事業所の皆様には、民生委員児童委員さんを通じて、ご依頼させていただきます。ご協力をお願い申し上げます。

平成27年度	会費実績	22,051,600円
	〔内訳〕	
	世帯会費	18,765,100円
	賛助会費	3,286,500円

皆様からお預かりをした会費は全額市内の地域福祉活動の財源となっています

ボランティアハウス



友愛訪問



近隣ケアグループ研修会



ふれあい交流事業



「何かできる」

各務原市障がい者料理サークル「みっばらクック」のメンバーが、マックスバリュ各務原那加店で「熊本地震義援金」募集活動を行いました。

約二時間の活動でしたが、世代を超えて多くの方が義援金を入れてくださり、「被災地は大変だから、少しでも助けになれば」、「こういう時はお互い様だから」という声が聞かれ、意識の高さを感じました。

みっばらクックの大谷弘代表は、義援金募集活動を行うにあたり「障がい者は全員ではないにしても、何らかの公的なご支援を頂いています。ご支援を頂いているからこそ、今回の熊本地震で被災された方々のために、微力ながら何かできないかと思い、サークルメンバーで義援金募集活動をしようと思ひ立ちました。被災地に赴いてのボランティア活動は難しいですが、募集箱を持って街頭に立つことはできます」と話されました。

「平成二十八年熊本地震義援金は義援金受入口座のほか、社会福祉協議会事務局でも受付けています。」

受付期間：平成二十九年三月三十一日まで
※義援金受入口座については、各務原市社会福祉協議会ホームページにてご確認ください。



ボランティア活動紹介

声の広報って

ご存知ですか？

視覚障がい者のために、書籍や雑誌、広報紙などの内容を、音声にして伝えるボランティア活動をしている『あじさいの会』。長年、社会福祉協議会主催音訳ボランティア養成講座に協力し、講師を務めています。

この日の講座では、視覚障がい者の気持ちを理解するために、アイマスクを着けて歩行介助を受けながら、実際の歩道を歩く体験を行いました。体験後には「階段の一步目が怖かった」、「視覚以外の感覚を研ぎ澄ますことで、舗装された歩道でも小さな段差や、緩やかな勾配を感じる事ができた」などの感想が聞かれると同時に、今回の経験を『伝える』ためにはどうしたら良いかと、受講者同士で話し合いました。

講師の中平さんは「視覚障がい者の気持ちを理解し、相手の立場を知ることや学びの一つと考えています。講座を通して音訳ボランティアを行う仲間が増えることで、少しでも視覚障がい者の力になりたい」と話されました。



屋外歩行体験



階段での歩行



受講風景

平成27年度 各務原市社会福祉協議会 事業報告

重点事業⑦ 子育て事業の推進

- ・ファミリーサポートセンター事業で子育て講習会や交流会を開催し、新たな試みとして産後お助け隊事業を開始しました。
コーディネート実績 767件
(内、産後お助け隊実績 13件)



ファミサポ交流会

重点事業⑧ 介護保険法・障がい者総合支援法に基づく支援

- ・要介護認定を受けた高齢者や障がい者の在宅生活を支援するためのケアプラン作成や、ホームヘルプサービス事業、ガイドヘルプサービス事業、訪問入浴サービス事業を行いました。



ケアマネ仕事風景

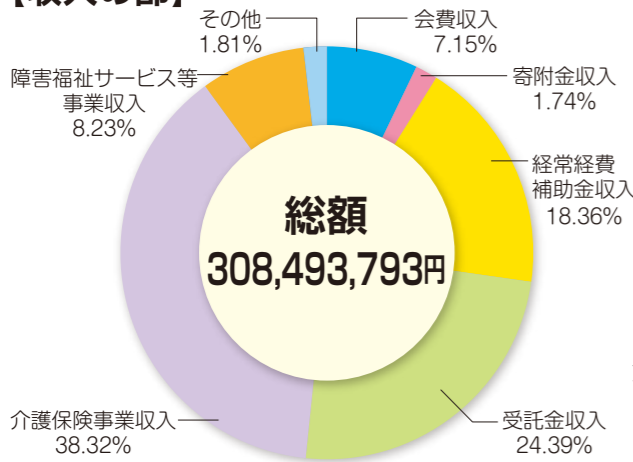


ホームヘルプサービスの提供

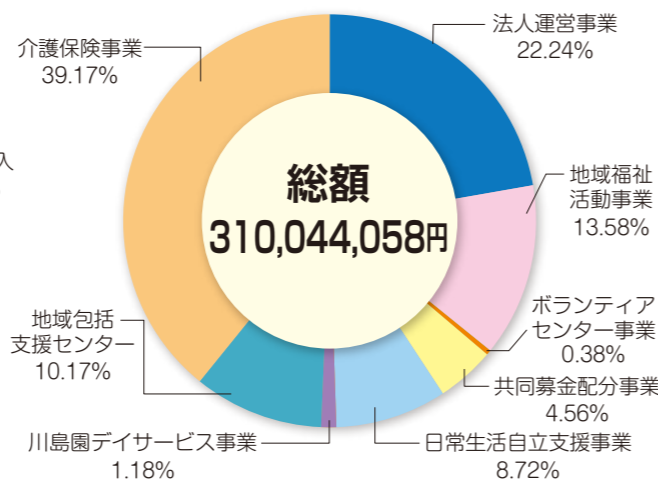


平成27年度 決算報告

【収入の部】



【支出の部】



※繰越活動増減差額の部を省略した表である。

役員紹介

誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを進めてまいります。

(敬称略・順不同)

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
会長	紙谷 清	理事	河尻 孝治	理事	井戸 輝雄	理事	羽場 富子
副会長	川島 勝弘	理事	宝島 一雄	理事	木田 恵次	理事	三輪 雄二
副会長	森 勇	理事	小池 修次	理事	藤井 國雄	理事	西森 孝治
常務理事	谷野 好伸	理事	長縄 長義	理事	廣瀬 安弘	監事	橋本 恭須代
理事	川瀬 勝秀	理事	松尾 弘之助	理事	大谷 弘	監事	小林 義博

※平成28年6月1日現在

重点事業① 総合相談窓口の充実

- ・生活相談センターさぽとをはじめ身近な場所で相談が受けられるように「ふらっと」「ささえあいの家」や稲羽西地区社協では公民館を会場に出張相談を行いました。
相談件数 2,844件 (前年比 +1,154件)
実相談者数 442名 (前年比 -14名)



相談風景

重点事業② 社協活動のPR

- ・広報「社協かみがはら」の発行 (年4回)
- ・わたしのお福わけ事業、お福わけ本の製作 (作品投稿数141作品)
- ・社協活動紹介DVDの作成

重点事業③ 近隣ケアグループ活動の支援

- ・声かけと見守りを通じて支援が必要な人をその地域で支えあう取り組みを進めました。
登録団体数 302グループ (新規 2グループ)
活動員数 2,184名 (前年比 +37名)



近隣ケア訪問

重点事業④ ボランティアハウスの拡充

- ・閉じこもりにならないように地域で暮らすひとが気軽に集まることのできるボランティアハウス事業の促進・立ち上げの支援を行いました。
活動数 93カ所 (新規 11カ所)
参加人数 2,631名 (前年比 +736名)



ボランティアハウス

重点事業⑤ 地区社協活動の支援

- ・17地区社協の実情にあわせたメニュー事業の展開「支部」より「地区」への名称変更に伴い、メニュー事業をテーマで整理し従来の事業を見直しました。

重点事業⑥ 夢を実現プロジェクト事業の促進

- ・企画提案型助成事業の継続支援および拡充を図りました。
夢を実現プロジェクト事業
拠点運営型事業 2件 (緑苑地区社協・八木山地区社協)
生活支援型事業 1件 (八木山地区社協) 新規
福祉教育型事業 1件 (各務地区社協) 新規
夢を実現プロジェクトミニ事業 各自治会や区単位
生活支援型事業 1件 (新加納連合自治会) 新規



防犯パトロール隊

『ぼきんカン』プロジェクトはじめます!!

子どもたちが描いたイラストぼきんカンを配布します

- ◆配布対象：市内の会社・職域、学校、商店、サークルなど
- ◆配布予定時期：平成28年10月1日から
(※配布予定数に限りがありますのでお早めにお問合せ下さい)
- ◆問合せ先：各務原市社会福祉協議会 事務局
- ◆TEL 058-383-7610



わたしのお福わけ

『家族がいてうれしいな』

わたしは、家族がいてとてもうれしいです。それは、家族がいるとおもしろかったり、楽しかったりするからです。とくにおもしろいのは、妹のさくらちゃんです。さくらちゃんはいろいろおもしろいことをはなしてくれたり、教えてくれたりしてとてもうれしいです。弟もとてもおもしろいことをやってくれたり、言ってくれたりします。たとえば、「たしか」という言葉を「たかし」と言つのでとてもおもしろいです。それと、「ケッ」って言うので「キッ」って聞こえて「キッコーあさですよ」と言うので面白いです。それと弟は、はこに、おもちゃのやさいを入れて、おべんとうを作っているの、そういうことができるんだと思いました。わたしは、家族を大切にしています。も元気でいたいと思います。

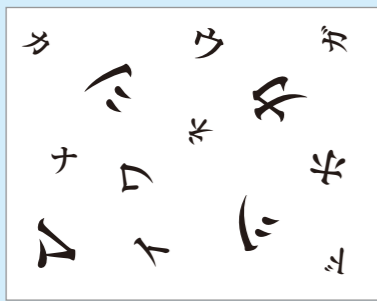
(各務原市 小川 楓さん 小学3年生)

◆作品展のご案内◆

お福わけ作品展を開催いたします。この作品展では来場者の皆さんに各部門の中から一作品を投票いただき、選考委員会で「お福わけ大賞」を決定いたします。投票いただいた方には、各務原のしあわせがいっぱい詰まった「わたしのお福わけ本」を後日進呈いたします。皆さまの来場をお待ちしています。

- ①日にち：九月四日(日)
場所：各務原市民会館 一階ロビー
- ②日にち：九月七日(水)～九月十三日(火)
場所：各務原市福祉フェスティバルにて
(各務原市福祉フェスティバルにて)
場所：産業文化センター 一階ロビー

わかるとスッキリ! あたまの体操してみませんか?



全ての文字を使って都道府県名を3つ作ってください。文字は1回しか使ってはいけません。

はがきに問題の答え・郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記してご応募ください(8月15日必着)。正解者の中から抽選で10名様に市内授産製品を進呈いたします。

宛先 〒504-0912 那加桜町2-163
各務原市社会福祉協議会 あたまの体操係 まで

5月号の答え
・長野 ・徳島 ・山梨

5月号では124名のご応募がありました。抽選で10名様に市内授産製品を進呈させていただきました。

ボランティア活動コーナー

おこづかいノートのつけ方を学びませんか

「普段使っているお金は何種類あるでしょうか?」講師のこんな質問からはじまったこの教室。子どもたちは「八しゅるい」「十こー!」「ぎゅー!」とそれぞれ大きな声で答えます。

この教室の発起人は「東濃信用金庫 那加支店」職員の皆さん。お金を扱う仕事をさせて頂いている者として地域のために何が出来るのかと職員同士で話し合った結果、お金の大切さを知るためにおこづかいノート教室を開催することになりました。

まず手始めに、子どもたちに目標を立ててもらおうとから始まりました。「たくさんためる」「ジューズをたくさん買う」など子どもたちの目標は様々。毎月おこづかいをもらいながら、買った物の値段を書き、残ったおこづかいから引き算すると「どっつかおつ」と言いながら真剣な表情でノートと向き合い、分らないことは職員に一所懸命に質問する姿が見られました。

講習が終わりおこづかいノートを手に、笑顔で教室を出る子どもたちの後ろ姿を見ながら、岡部支店長は「今回はおこづかいノート教室でしたが、学びの内容を変えながら、これからも地域に貢献し続けていきたいと思えます」と言われました。



ボランタリーハウス紹介

「ミニボランタリーハウス庵」に訪問しました。こちらでは、各務原市が管理運営している市民サービス「ふれあいタクシー・ふれあいバス」を利用し、スーパーマーケットや病院にでかける取り組みを行っています。

この企画を始められたハウスのメンバーのお一人である田辺桜子さんにお話を聞きました。「年齢を重ねたことで車を運転できなくなった方々が社会資源を活用し、買物や通院ができるようになってほしいと思っています。また、外出することで、引きこもりの高齢者が減り、認知症予防にも繋がるのではないのでしょうか。また、今回の企画は三回目ですが、ふれあいバスがタクシーに変わり、乗車には事前予約が必要となったことで利用を控える方もいらっしゃるなど、課題も見えてきました。」と話されました。田辺さんはそれから課題解決のために、自己努力と並行して行政側との話し合いも続けていくそうです。

もう一人のメンバーである片岡みかさんは「今、車を運転している現役世代でも、いつかは高齢世代になります。その時になって、バスに乗るつもりでも、利用方法が分らず移動を控えるという選択をしてしまうかもしれません。地域とのつながりが、減ってしまします。前もって公共交通機関などの利用方法を知っておくことは、「いつか」のためにも必要なのでは...」と話されました。



ふれあいタクシーを体験

